

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第31号
2020年(令和2年)
7月7日
組織拡充委員会

あすなろ地区、東京連盟、日本連盟の表彰

新型コロナウイルス感染防止のため、5月30日の日本連盟全国大会、6月13日の東京連盟年次総会、6月25日のあすなろ地区協議会は、いずれも実際には開催されずにネットや書面での開催となったため、表彰は対象者に直接の授与でなく、お名前の発表にとどまりました。

あすなろ地区では、以下の方々が表彰されました。(敬称略)

あすなろ地区表彰

【地区表彰状】

中野11団：芦崎 俊夫、岩田 はるみ、高橋 亮子、柴田 悟、神田 健太郎、谷川 ひかり、
池田 一貴、湯澤 勇輝、富田 宏幸、林 隆之
杉並6団：佐野 望 **杉並11団**：中井 美津子
杉並13団：名和 一成

【地区有功記念章】

中野8団：綾田 雄公、小倉 俊一、沼上 幸一、沼上 拓洋、南川 繁明
杉並11団：橋場 あゆみ、升岡 節子
杉並13団：榎田 紀彦

【地区感謝状】

杉並12団：菊地 薫(故人)

東京連盟表彰

【県連盟有功章】

中野8団：小倉 栄一、沼上 晶子
中野11団：金田一 良
杉並3団：左奈田 将実、山田 倫子
杉並5団：森 宇宙、富安 純平、鈴木 知之
杉並6団：儘田 哲夫、山中 一樹
杉並11団：谷島 みどり
杉並12団：平野 道代



県連盟有功章



県連盟特別有功章

【県連特別有功章】

杉並12団：根本 佳明

日本連盟表彰

【たか章】

杉並6団：岡村 實、竹之内 實 **杉並11団**：佐藤 武信



たか章

地区総会で地区役員を選任

4月30日(木)に開催予定されていた今年度の地区年次総会は、コロナウイルス感染防止のため、会場への集合を避け、付議事項を书面で通知し、回答を集計して議決されました。

今年度の地区協議会長、地区委員長、地区役員、会計監事、地区名誉会議議員選任の議案については、以下の通り議決されました。

地区協議会長	岡村 實	留任	杉6	組織拡充委員長	広瀬 治男	留任	杉12
地区委員長	佐藤 武信	留任	杉11	指導者養成委員長	沼上 幸一	留任	中8
地区協議会副会長	並木 明直	留任	杉3	進歩委員長	金田一 良	留任	中11
〃	竹之内 實	留任	杉6	野営行事委員長	島田 雅彦	留任	中5
〃	高橋 宏人	留任	杉11	セーフ・フロム・ハム安全委員長	武藤 八朗	留任	中3
地区副委員長	並木 俊久	留任	杉4	信仰奨励委員長	津村 道夫	留任	杉9
〃	椎木 誠一	留任	杉13	国際委員長	本間 幹人	留任	杉3
〃	広瀬 治男	留任	杉12	会計	諏佐 道宏	新任	杉11
〃	島田 雅彦	新任	中5	副会計	山中喜美子	留任	杉6
				事務長	並木 俊久	留任	杉4
名誉会議議員	塚田 英昭	留任	中5	副事務長	久保田 温	留任	中3
〃	手島 敦	留任	杉6	会計監事	久保田承良	留任	中3
				〃	小森 敏弘	留任	杉9

地区コミッショナー	下地 俊一	杉11	任期：2019.7.1～2021.6.30
地区副コミッショナー (BVS)	沼上 晶子	中8	〃
〃 (CS)	嶋崎 正男	杉5	〃
〃 (BS)	古川 久生	杉6	〃
〃 (VS)	飯沼 利雄	杉12	〃
〃 (RS)	飯沼 利雄	杉12	〃
団担当コミッショナー (中野)	小倉 栄一	中8	〃
〃 (杉並)	村山 正己	杉4	〃

優良団として表彰 中野8、杉並11団

東京連盟の年次総会では、毎年優良団を年次総会資料に掲載し、紹介しています。

優良団の表彰対象は、

- ① スカウト増加団 …継続登録時に前年度と比較して5名以上スカウトが増加した団
- ② スカウトが多い団…継続登録時にスカウトが60名以上の団

となっており、あすなる地区では中野8団がスカウト数62名（全登録者数88名）、杉並11団はスカウト数78名（全登録者数115名）、スカウト増加数9名で表彰されました。



技能章を目指しました

2019年度中に、あすなろ地区の各団で取得された技能章は表の通りです。
地区の技能章考査員は、地区ホームページに記載の名簿をご覧ください。



	杉2	杉3	杉4	杉5	杉6	杉9	杉11	杉12	杉13	中3	中5	中8	中11	計
野 営 章		4		1	8		12	1						26
野 営 管 理 章							1	1						2
救 急 章				1	4		11	1						17
野 外 炊 事 章		4		1	8		14							27
公 民 章							1							1
バイオニアリング章		3			3		13	2						21
リーダーシップ章		4		1			7							12
ハイキング章				1	8		12							21
スカウトソング章					8		13							21
計 測 章					2									2
観 察 章				1			1							2
世 界 友 情 章		4		1								1		6
森 林 愛 護 章							1							1
洗 濯 章							1							1
測 量 章												1		1
計	0	19	0	7	41	0	87	5	0	0	0	2	0	161

ピンチをチャンスに

地区協議会長 岡村 寛



日頃よりあすなろ地区ボーイスカウト運動にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス禍の中、2020年度のあすなろ地区総会は前例のない書面総会となり、関係者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたが、無事に提案した議題が承認され、なんとか2020年度がスタートしました。

この度の書面総会で地区協議会長に再任いただき、今後ともスカウトのため、あすなろ地区のため、微力ながら努力していく所存ですので、よろしく願いいたします。

今年度、あすなろ地区表彰をお受けになった方々、誠にありがとうございます。長年のご奉仕に感謝申し上げます。同時にこれからも健康に留意され、ご活躍されることをお願い申し上げます。

2020年度がスタートしたとはいえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月末から5月まで活動自粛が続き、6月に入っても従来どりの活動が難しい中、各団におかれましてはSNS等を活用した在宅のままの活動や、スカウトの上進や入隊に努力されており、スカウト達とのコミュニケーション維持に腐心されている指導者の皆さまに感謝申し上げます。

この活動自粛中には地区委員会も各団の団会議もZoomなどを活用し、従来とは違った体験をしたことと思います。これぞ「災い転じて福となる」ではありませんか？

即ち、今回の危機の中から我々も学び、ボーイスカウト活動の在り方を見直す良い機会とも言えます。

“Face to Face” や“肌を感ずる触れ合い” ももちろん大切ですが、今後の新型コロナウイルスとの共存の中では、各種ガイドラインに沿い、我々の活動も新しい時代に対応すべきと、前向きに捉えたいと思います。

活動自粛中に、「スカウティング・フォア・ボーイズ」(S.F.B)や日本連盟発行の「先人にまなぶ」や「先哲のおしえ」を再読することができ、S.F.Bの中で、ベーデン・パウエルが「病気の予防」にも言及しており、まさに現在にも通じる見識と思いました。

「ちかいとおきて」をベースに、野外を教場にして、班制度や進歩制度などに則り、スカウト育成を行うこの運動の基本を再認識しました。その実践にあたり、成人指導者の皆さまのご支援が不可欠です。

これからの新しい時代に対応すべく知恵を出し合い、スカウトが良き社会人になるお手伝いできればと願っております。

各団の益々のご発展を祈念しますとともに、皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国大会のテーマ集会で発表 杉並11団ローバー隊 山本虎太郎

5月30日(土)に横浜市で開催を予定していた今年度の日本連盟全国大会は、新型コロナウイルス感染防止のため、インターネットを利用した生配信で開催されました。

開会宣言後、全国スカウト教育会議(テーマ集会)が11のテーマに分かれて開かれました。

私は、日本連盟の社会連携・広報委員会が担当した「色々なツールを使った #おうちスカウティング活用術」にパネラーとして参加し、開発したカブ進捗支援アプリ「cubook」を紹介しました。

cubookとは、スカウトがカブブックに取り組み、その内容をアプリを通して文章や画像でリーダーに送信し、リーダーは送信された内容に対してフィードバックを入力し承認することで、スカウトのアプリにも反映され、スカウトの進歩に結びつけるものです。

また、隊内のスカウトの取り組みが一覧表示されるため、お互いの意欲向上につながります。

アプリを当団カブ隊で先行して導入したところ、保護者からはスカウトのカブブックの取り組みが加速されたとの声や、他の習い事で忙しかったスカウトが活動自粛期間中にカブブックに熱心に取り組んだと知り、カブスカウトの進歩につながるという確信を得て全国に公開しました。

コロナウイルスでスカウト活動の自粛が続いたことから、公開後は各地のカブ隊で利用されるようになり、6月現在で国内のカブ隊の約15パーセントにあたる310の隊に利用されています。

公開後も、申請時の動画送信・進捗管理のツールとしての強化や、暗い場所でも目に優しいダークモード対応など、機能を充実させ続けています。

アプリの問い合わせや改善の要望もあり、まだ発展途上ですが、皆様のお声を受け止めながら、より使いやすいアプリにしていきたいと思えます。

また、近日中にビーバー隊・ボーイ隊・ベンチャー隊でも活用できるように現行の機能改善と並行して開発を進めています。

緊急事態宣言が解除され、集まっての活動もできるようになってきましたが、カブ隊の活動にこうしたアプリを活用すれば、スカウトと指導者にメリットがありますし、カブブックにいつでも取り組んで、カブスカウトの進歩につながると思えます。

なお、カブ進捗支援アプリ「cubook」は <https://sites.google.com/view/cubookinfo> で内容を紹介しています。



富士スカウト章記念品の贈呈、菊スカウト章の伝達

3月20日(祝)、なかのZEROで開催された地区委員会に先立ち、杉並12団の村上智基さんに富士スカウト章記念のバックルが贈呈されました。

バックルは本来、3月15日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催の「富士スカウト顕彰のつどい」で授与される予定でしたが、新型コロナウイルスで流会となったため、地区委員会で贈呈されることになりました。

また、杉並11団の海上 紗慧さん、佐々田 詠哉さん、平井 飛向さん、古澤 直樹さん、奥村 政為さん、高田 直樹さんの6名に菊スカウト章が伝達され、古澤 直樹さんには、通算200kmのプラチナハイカーの認定証とバッジが授与されました。



富士スカウト章記念バックルの贈呈



海上紗慧さんに菊スカウト章の伝達



奥村政為さんに菊スカウト章の伝達



プラチナハイカーの授与



記念撮影

プラチナハイカーをめざそう！

「プラチナハイカー」は、ハイキングで歩いた距離が200kmを越え、ハイキングに関する技能を修得したスカウトに東京連盟から授与されるもので、ボーイ隊在籍中にハイキングで歩いた勲章ともいえます。

距離に応じてシルバー、ゴールド、そしてプラチナの段階があり、各団でもハイキングのたびに歩いた距離を記録して挑戦してください。

◎ハイク50 (シルバーハイカー)

- ・ボーイスカウト活動において、歩行による累計50kmのハイクをする。



◎ハイク100 (ゴールドハイカー)

- ・ボーイスカウト活動において、歩行による累計100kmのハイクをする。
- ・C-1「ハイキング企画」、C-2「読図」のマスターバッジを取得する。
- ・隊長から与えられた課題を含む10km以上のハイキング(ゴールドハイカー挑戦ハイク)を計画・実施・報告する。



◎ハイク200 (プラチナハイカー)

- ・ボーイスカウト活動において、歩行による累計200kmのハイクをする。
- ・C群のターゲットバッジを全て取得する。



ボーイ隊・ベンチャー隊の活動を開始

杉並5団

杉並5団のボーイ隊・ベンチャー隊は6月14日(日)、対面の活動を約4か月ぶりに再開し、感染予防のため指先の消毒、健康チェックをしてマスクを着用しました。セレモニーではお互いの間隔を空け、溜まっていた各種の表彰や役務の交代、カブ隊からボーイ隊、ボーイ隊からベンチャー隊への上進式と「ちかい」の再確認をしました。

ロープを使ったゲーム、「飛沫」を飛ばさないジェスチャー伝言ゲームなどを楽しみ、まだまだ制約がある中ですが、これからの活動の打合せも行いました。



マスクを着用して間隔を空けたセレモニー



ボーイ隊からベンチャー隊への上進



ロープを使ったゲーム



ジェスチャー伝言ゲーム



これからの活動の打合せ

野外で上進入隊式を行いました

杉並12団

杉並12団は延期していた上進・入隊式を6月7日(日)、阿佐谷神明宮の境内で開催しました。

毎年の上進・入隊式は杉一小の体育館で開催していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、換気の心配のない野外での開始となり、参加者はマスクを着用し、席の間隔を空け、連盟歌も歌ったつもりでカットし、上進スカウトは上進後の制服に着替えずに入隊式を行って、開催時間を短縮しました。



ビーバーからカブへジャンプ



カブからボーイにジャンプ



ベンチャーからローバーにジャンプ



ビーバーの制服でカブ隊入隊式



カブの制服でボーイ隊入隊式



ボーイ隊新編成の紹介

LINEで隊集会

杉並6団カブ隊隊長 星 鉄兵

コロナウイルス感染防止のため、集まっでの活動自粛が長引いていたことから、複数人でビデオ通話ができるLINEのグループ通信を初めて使い、カブ隊の隊集会を5月24日(日)に開催しました。

本当に久しぶりの隊集会にみんなが画面上に集まり、画面では参加者の全員が写っていませんが、スカウトと指導者の18名が参加しました。

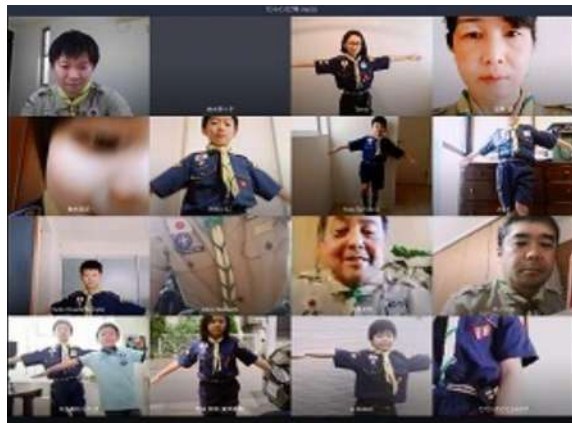
各家庭に在宅したままのLINEでの隊集会ではありましたが、それでも画面からみんなの楽しそうな表情や元気な声が伝わってくるため、実際に会って活動しているような感じがあり、安心して、楽しく過ごすことができました。

ビッグビーバーからカブ隊に上進したばかりのスカウトは、上進・入隊式もできないまま、カブ隊の活動が休止していましたが、カブの制服を着て、立派なカブスカウトになっていました。

また、兄弟でビーバーとカブのスカウトも、一緒に参加してもらいました。

しばらく会っていなかったので、学校の長い休みや家庭での過ごし方など、お互いの様子を聞いたり、家でもできる「おうちスカウティング」の取り組みの話など、予定していた時間をだいぶ延長することになりましたが、みんなでいっしょに長い時間、話をすることができました。

これまでにないLINEでの隊集会を開催してみて、スカウトの集会の形はもいつもの集合スタイルだけでなく、状況に応じてこうしたアプリを使い、在宅のままでも隊活動ができる時代になっていると感じました。



活動を再開！

中野5団ボーイ隊副長 鈴木 千嘉良

コロナウイルスのため、中野5団ではしばらく活動を休止していましたが、活動自粛の制限も緩和されたことから、6月7日(日)に上進入隊式を開催し、ボーイ隊は6月21日(日)、徳田教会の園庭内で隊集会を行って、活動を再開しました。

コロナウイルス感染防止のため、集会にあたっては体温と健康報告をしてもらい、マスクを着用して活動しました。

地図の見方やコンパスの使い方については、西武新宿線沼袋駅からスカウトの自宅までの方向、距離を計測して、徒歩の場合の所要時間などを調べました。

また、国旗掲揚塔を使って国旗の掲揚方法、国旗の畳み方などを練習しました。



コロナ感染予防を意識して活動再開 杉並3団 組織拡充委員 松原 郁子

杉並3団では、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、自粛期間中はメールやオンラインでのリーダー会議でしたが、自粛解除後は三密を避けながらの団委員会会議などで、活動再開に向けた準備を進めてきました。

ここに、各隊の活動再開状況を報告いたします。

▶▶ ボーイ隊

6月28日(日)、カブ隊から上進した3人のスカウトのオンライン入隊式を行いました。

当団では初めて試みたオンラインの入隊式で、YouTubeで連盟歌を流してみんなで歌うなど、新しいスタイルでの集会を楽しみつつ、無事にスカウトの「ちかい」も立てることができました。

入隊式の後には、初めてオンラインのキムスゲームで親睦を深めました！



スカウトの「ちかい」



オンラインでのキムスゲーム



みんないくつ覚えられたかな？

▶▶ カブ隊・ビーバー隊

カブ隊、ビーバー隊の今年の上進式・入隊式は三密を避けるため、7月5日(日)、隊ごとに時間をずらして実施しました。コロナ感染予防の観点から、リーダー、スカウト、保護者全員に、事前に自宅で体温チェックいただき、また現地でも非接触型体温計で体温をチェックし、「やくそく」時に隊長はフェイスシールドを着用しました。

カブ隊には6人の上進と、新たに2人のスカウトが加わりました。長いお休み期間を吹っ飛ばすくらい、元気にカブスカウトの「やくそく」を立ててくれました。

ビーバー隊は新たに3人のスカウトが入隊しました。少し緊張しながらも、元気よくビーバースカウトの「やくそく」を立てました。



カブスカウトの「やくそく」



弥栄！



ビーバースカウトの「やくそく」

上進式・入隊式の後、例年スカウト活動でお借りしている近所の畑で、ジャガイモ掘りと落花生の種まきを体験しました。

たくさん収穫したジャガイモは、みんなで持ち帰って、おいしくいただきました！ 落花生は、秋にまたみんなで収穫するのが楽しみです。



ジャガイモ掘り



大量のジャガイモの収穫



落花生の種まき

ベトナム連盟からマスク 老人ホームに寄贈

国際委員長 杉並3団ローバー隊長 本間幹人

杉並2団の平野謙吾団委員がベトナムのホーチミンに駐在されていた折りに、現地のダン(Dan Quang)さんの紹介で、平野さんは日曜日に市内の公園などで開かれるベトナムのボーイスカウトの隊集会で奉仕をされていました。

英語、日本語も話すダンさんは、NECベトナムに勤務されていたチャンさん(Thanh Uyen Tran)とともに、ベトナム連盟の世界スカウト機構の加盟に向けて、世界スカウト機構アジア太平洋地域本部と折衝されています。

今回の新型コロナウイルス感染で、ベトナムは感染爆発が起きる前に迅速な初期対応によって市中感染を食い止め、死者数はゼロとなっています。

ダンさん、チャンさんは、ベトナムのボーイスカウトとして、コロナウイルス感染防止のため、ベトナムの企業や医療会社と連携してマスクを寄付してもらえるよう折衝し、ボーイスカウトが支援活動を展開して、ベトナム国内の一般市民ほか、日本、香港にも同様の支援しています。

平野さんと私は、4年前にダンさんが来日した時、当時は本郷にあったスカウトショップ、スカウトミュージアム、日本連盟国際部に案内したこともあったことから、このたびダンさんよりベトナム連盟を通じて、世話になった日本連盟にマスク600枚を贈りたいとの申し入れいただきました。

寄贈されたマスクを有効に活用するため、日本連盟としては福祉施設等に寄付したい意向であったため、杉並3団が定期的に訪問活動をしている杉並区内の特別養護老人ホーム「すぎなみ正吉苑」に寄付して、活用していただくことになりました。

ベトナム連盟の好意に対して、日本連盟からベトナム連盟に感謝状が送られました。



ダンさんたちは、ボーイスカウトの活動として、ベトナムの一般市民にもマスクを寄付しています



寄贈されたマスク



本郷のスカウト会館前で、左から平野、ダンさん、本間



ダンさん(左)、チャンさん



すぎなみ正吉苑にマスクを寄贈